

BORDERLESS IR CO., LTD

ANNOUNCES NEWSLETTER

株式会社ダイキアクス(4245 東証1部)
2020年12月期第3四半期決算概要

2020年11月24日東京

「2020年12月期第3四半期は営業利益、経常利益増益。再生可能エネルギー関連事業が大幅伸長、安定収益源へ」

決算概要

○当第3四半期連結累計期間の同社グループを取り巻く経営環境は、国内外ともに新型コロナウイルス感染症の急速な拡がりで悪化、業界では営業活動の制限により受注が先延ばしとなる等の影響が出た。

○このような状況下、将来の収益性の向上に重点を置いた戦略を推進している。環境機器関連事業セグメントにおいては、海外における事業展開の推進、ストックビジネスとしてのメンテナンス事業及び上水エスコ事業の営業強化、住宅機器関連事業セグメントにおいては、ECビジネスを開始する等、安定事業から成長事業へ転化、再生可能エネルギー関連事業においては、循環型社会の実現と安定収益確保の強化を実施している。

○第3四半期連結累計期間における売上高は256億87百万円(前年同期比-3.4%)となったが、一般的な利益改善を進めた結果、売上総利益は54億30百万円(前年同期比+6.2%)、営業利益は8億30百万円(前年同期比+9.9%)、経常利益は9億61百万円(前年同期比+12.3%)となった。特別損益においては、関係会社株式売却益1億52百万円、減損損失2億36百万円を計上した。また、非支配株主に帰属する四半期純利益については連結子会社の株式会社シルフィードにおける種類株主への年4.8%の優先配当が前第3四半期連結会計期間から計上されている。結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億35百万円(前年同期比-21.2%)となった。

○環境機器関連事業は、浄化槽・排水処理システムの売上高は前年同期比減少。前年同期は国内売上高では、大型案件の売上計上があったが、当期はそれに見合う売上高がなく、海外売上高も新型コロナウイルス感染拡大による景況悪化の影響を大きく受けた。ストックビジネスとしてのメンテナンス事業は、前年同期と比べ堅調に推移、上水エスコ事業の売上高は契約数の増加はあったが顧客の使用水量減少等により前年同期並みの推移にとどまった。結果、環境機器関連事業の売上高は127億43百万円(前年同期比-8.6%)、セグメント利益(営業利益)は、7億98百万円(前年同期比+15.0%)となった。

○住宅機器関連事業は、建設関連業者等売上は、関連するサプライヤーの部品生産拠点が中国国内に多く、商品の入荷遅延があったが、代替商品への切り替えにより対処できた。また、店舗設備の取り換え需要等が発生したことにより、前年同期と比べ堅調に推移した。住機部門工事は店

舗新築の大型案件があったものの全体的に中大型案件が少ない状況だった。しかしながら2019年10月に連結子会社となった株式会社富士原冷機の売上取込があり、前年同期と比べ堅調に推移した。ホームセンターリテール商材は既存店への販売が減少、ECビジネスにおいては新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、エンドユーザーへの現地調査等の営業活動が停滞した。結果、住宅機器関連事業の売上高は111億9百万円(前年同期比+4.5%)、セグメント利益(営業利益)は、2億99百万円(前年同期比-7.3%)となった。

○再生可能エネルギー関連事業は、太陽光発電に係る売電事業において、2018年度よりDCMグループの店舗屋根を賃借して発電施設を建設し、固定価格買取制度(FIT)を利用した売電を実施。当第3四半期連結累計期間では、6件の施設について売電を開始していることから、前年同期より大幅に増加した。計画では残り2か所を残すのみとなっている。その他、バイオディーゼル燃料事業及び小型風力発電機関連事業は、前年同期と比べ減少した。結果、再生可能エネルギー関連事業の売上高は、6億90百万円(前年同期比+34.3%)、セグメント利益(営業利益)は、2億82百万円(前年同期比+39.7%)となった。

○その他の事業は、土木工事業において、株式会社DADを第2四半期連結会計期間末に売却したことにより売上高は大きく減少した。家庭用飲料水事業は、前年同期と比べ堅調に推移した。この結果、その他の事業は売上高11億43百万円(前年同期比-23.8%)、セグメント利益(営業利益)は1億44百万円(前年同期比+10.9%)となった。

○財政状態に関しては、第2四半期連結会計期間末に株式会社DADの全株式を譲渡したことにより流動資産、固定資産、流動負債が減少した。また太陽光発電に係る売電事業及び小型風力発電事業に係る設備投資を資金使途としたグリーンボンド(適格機関投資家限定の無担保社債)を発行したことにより、固定負債が増加した。

○連結業績予想を発表した。2020年12月期売上高34,400百万円(前期比-3.8%)、営業利益1,010百万円(前期比+0.9%)、経常利益1,160百万円(前期比+0.4)、親会社株主に帰属する当期純利益550百万円(-29.7%)、1株当たり当期純利益44円32銭としている。

株式会社ダイキアキス(4245 東証1部)(<http://www.daiki-axis.com/index.html>)

2020年12月期第3四半期決算短信については、こちらをご参照ください。

→ <http://www.daiki-axis.com/ir/info/index.html>

リリースの免責事項

本リリースは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。なお、本サービスにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、当社は一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

リリースに関する照会先

Borderless IR 株式会社 <http://b-ir.co.jp/japanese/main.php>

〒103-0027 東京都中央区日本橋 1-2-10 東洋ビル 6F

TEL 03-4588-6706 担当: 福田 徹

お問い合わせ <http://b-ir.co.jp/japanese/contact.php>

Borderless IR は、国内・海外向けIR情報配信専門の会社です。国内・世界有数のメディア、企業情報データベース、メーリングリスト等を通じ、海外投資家にダイレクトに企業の最新情報と本質的な

強みを主としてニューズレターとアナリストレポートで配信しています。その他、海外IR支援全般を手掛けているプロフェッショナル企業です。

©Borderless IR Co., Ltd. All rights Reserved

本リリースに掲載された内容を許可なく複製、転載することを禁じます。